

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019年 7月 11日作成 第 1.0版

研究課題名	血液透析患者における抗エリスロポエチン受容体抗体の造血効率と鉄動態への影響の検討
研究の対象	2019年3月～2019年9月に実施の【血液透析患者におけるエポエチンβペゴルの投与頻度が腎性貧血治療効率および鉄代謝に与える影響に関するランダム化比較研究】にご参加の方のうち、二次利用にご同意頂いた方
研究目的 ・方法	【血液透析患者におけるエポエチンβペゴルの投与頻度が腎性貧血治療効率および鉄代謝に与える影響に関するランダム化比較研究】で実施、収集された下記の項目と採血の検体、およびバイオバンク室の健常人の採血検体を本研究に使用して、血液透析を受けている患者さんにおいて抗エリスロポエチン受容体抗体が貧血治療効率と鉄代謝マーカーに与える影響を検討します。
研究期間	西暦 2019年 8月 23日（承認日） ～ 西暦 2021年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	【血液透析患者におけるエポエチンβペゴルの投与頻度が腎性貧血治療効率および鉄代謝に与える影響に関するランダム化比較研究】で実施、収集された下記の項目1)-6)を使用します。また、患者さんとバイオバンク室の採血検体を用いて7)を測定します。バイオバンクの試料情報からは年齢と性別を収集します。 1)患者基本情報： 年齢、性別、身長、基礎体重（ドライウェイト）、BMI、ESAの種類・投与量、透析期間、透析条件、Kt/V（標準化透析量）、血液透析用バスキュラーアクセスの種類、慢性腎臓病原疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心血管疾患、血液疾患）、RAS系阻害内服の有無、鉄含有製剤内服の有無、透析前収縮期・拡張期血圧 2)血液検査 3)エポエチンβペゴル投与量 4)ERI（Erythropoiesis resistance index） 5)鉄投与（投与量、期間） 6)貧血コントロール不良による赤血球輸血・ESA種類変更の有無 7)抗エリスロポエチン受容体抗体

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて（バイオバンク室の試料を含む）患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 血液浄化センター （研究責任者）戸谷 義幸

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2846